

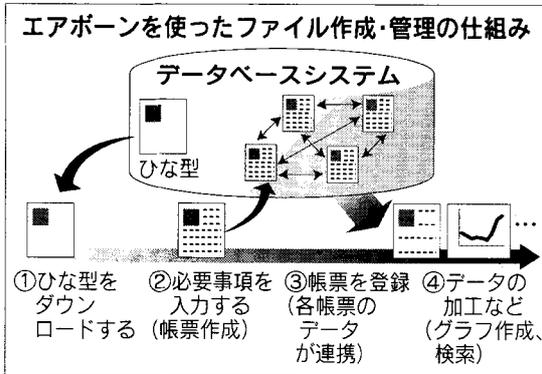
# 伝票類や日報 表計算で共有

## 必要情報「エクセル」形式に

システム開発のルーデンス(静岡市、田村正明社長)は複数の人が共有する発注伝票や営業日報などを手軽に作成できるシステムを開発した。マイクロソフトの表計算ソフト「エクセル」の複数のファイルを運動させ、1年分の売上高など必要な情報だけを抽出できる。専用システムを導入するよりも初期費用を3分の1程度に抑えられるという。中小企業向けに3年間で100件の導入を目指す。

### ルーデンス、中小向け

### 初期費用1/3に



開発したのは「エアボーン」。まず金額や品名など企業が必要とする帳票の形式を作成。利用企業はインターネットのメニュー画面からひな型となるエクセルのシートをダウンロードし、必要な項目を記入してデータベースに登録する。複数の社員の営業データなどが記載されたファイルはデータベースに登録され、エアボーンが必要な部分だけを抽出。改

めてエクセルのファイル形式で表示する。例えば1年分の伝票から売上高だけ抽出して月ごこの推移をグラフにまとめた

り、顧客別に金額を集計したりするといった使い方が可能だ。同じ体裁のファイルを複数作成・管理する「マクロ機能」などを使わないため、エクセル自体がバージョンアップしても機能が失われないのも特徴という。

小規模企業の場合で初年度の費用は約130万円。表計算・管理システムを始めから開発するのとは比べると「初期費用は約3分の1」(田村社長)としている。納期も1ヵ月程度と独自開発の場合の約4分の1という。

田村社長は「専用システムを一旦から開発する担がかりやすい」と強調し、県内の中小企業と、使い方を訓練する必要があるなど導入後も負

## 磐田市、津波避難タワー

### 沿岸部に6基 南海トラフに備え

磐田市は市内の沿岸部に、津波から逃れるための避難タワーを6基建設する。高さは12メートル以上で、計2000人程度が避難できる。国の検討会が公表した南海トラフ地震の影響で、これまでの想定を上回ると見られる。津波に襲

い地点を6カ所選定する。これまで磐田市の津波想定は最大5・1メートルだが、国の検討会の想定では11・8メートルと2倍以上になったため住民の安心を急ぐ。全対策を急ぐ。タワーのほか、沿岸部に公共施設の屋上に地元住民が避難できるよう、外付け階段を設置する。一連の施設整備にか

かる約2億8000万円を補正予算として14日に臨時市議会へ提出する。県内では浜松市が沿岸部に同様の津波避難タワーや土を盛った高台計7基の建設を計画しており、用地選別など調査を進めている。吉田町も14年度までに津波避難タワーを計15基建設する予定だ。

## 県内新車登録94%増

### 4月、7ヵ月連続プラス

日本自動車販売協会連合会静岡支部がまとめた4月の新車登録台数(速報値、軽自動車を除く)は前年同月比94・7%増の7404台だった。増加は7ヵ月連続。エコカー補助金の復活など、除くすべてのメーカーが

4月	前年同月	増減率
新車登録台数	3,324	(3.1倍)1.3
軽自動車	988	(66.7)0.7
普通自動車	1,029	(42.7)2.2
軽自動車	361	(74.2)2.2
普通自動車	500	(116)4.2
軽自動車	116	(32.3)3.6
普通自動車	131	(42.8)4.4
軽自動車	63	(28.4)2.2
普通自動車	63	(28.4)2.2

## 特産「キンメ」で魚醤

下田商工会議所(下田市)は特産品のキンメダイを使った魚醤を発売した。鍋料理などの利用を促し、下田発の全国ブランドに育てたい考えた。



キンメダイを活用して全国ブランドを育成する

焼津水産高校(焼津市)と共同開発した。キンメダイの身や頭、内臓に食塩と麦こうじなどを加えて発酵させた。鍋料理や野菜いた

## 下田商議所、道の駅で販売 鍋料理など隠し味に

めなどに数滴入れると「うまみが増し、こくが出る」(同商議所)という。魚醤を使った約20品の料理を掲載したレシピ集も配る。今後は地元の飲食店と共同で魚醤を使ったレシピを考案するほか、市外のスーパーなどにも販路を広げる方針だ。

魚醤は秋田県や石川県でも生産しているが、「キンメダイを使った魚醤は全国的にも珍しい」という。